

アプリケーションカタログ 硝酸銀溶液のファクター

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/中和滴定
関連規格	:	JIS K8001

1. 概要

容量分析では、滴定や添加などに用いる標準液のモル濃度を、端数の無い数値と、端数を係数にした数値に分けて正確なモル濃度を表します。そのときの係数をファクターと呼びます。

0.1mol/L 硝酸銀溶液のファクターは、「JIS K8001-1998 試薬試験方法通則」に基づき、塩化ナトリウムを試料として、0.1mol/L 硝酸銀溶液で滴定し、その滴定量から算出します。

なお当量点は、滴定曲線の最大変曲点です。

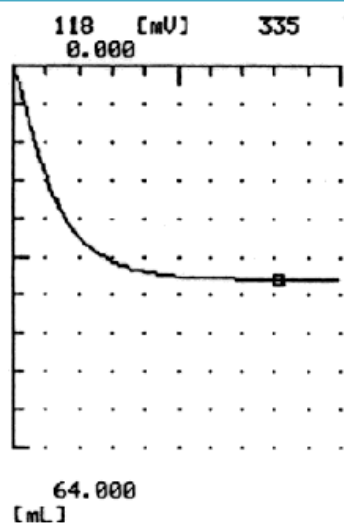
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	複合銀電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 硝酸銀溶液
滴定溶媒	:	純水
添加試薬	:	塩化ナトリウム

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Factor
1	0.2052	35.7333	0.9777
2	0.2003	34.6724	0.9836
3	0.2022	35.1150	0.9804
Average			0.9806
S.D.			0.0030
R.S.D.			0.3012

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>